C・Sコラム

敬天愛人

碧南市長 補冨田政信

ねぎた市政1期目、2期目に実施したこと

私が市長に選出されて、早7年半が経過しました。この7年半のあいだに何を実施してきたのか、自分なりに分析してみたいと思います。評価は皆様に委ねます。

①税収が最低レベルのときでも市政運営ができる財政構造を確立

私の市長就任直後にリーマンショックが発生し、平成21～25年度までは、税収が200億円規模から160億円規模に激減しました。市民の皆様のご理解、ご協力を得るなかで25年度の決算では、貯金を崩したり、借金を増やすことなく、単年度2億円の黒字を出すことができました。このことは、今後の碧南市政にとって大きな自信となることです。

②市職員の意識改革

私は市長に就任以来、市職員に対して「市政の目的は、限られた財源のなかで、市民満足度（CS）と費用対効果（コストパフォーマンス）を最大化することである」と訴え続けるとともに、各種職員研修を実施してきました。その結果、年1回実施している「市政アンケート」での市職員の対応満足度は上昇し、毎年実施している改善提案数もコンスタントに年間600件程度（以前は年間50件程度）出されるようになりました。

③安心安全施策を前進

近い将来、大地震発生が予想されるなか、新川小、鷲塚小、南中の各校舎の改築、中田川ポンプ場・蜆川ポンプ場の建設など、大型事業も着実に実施できました。

④将来に対する投資を実施

将来の税収増、人口増に向けて、緑地面積率の緩和、衣浦港港湾計画の改訂、産業道路4車線化の着実な前進などを実施できました。

⑤市の活性化を前進

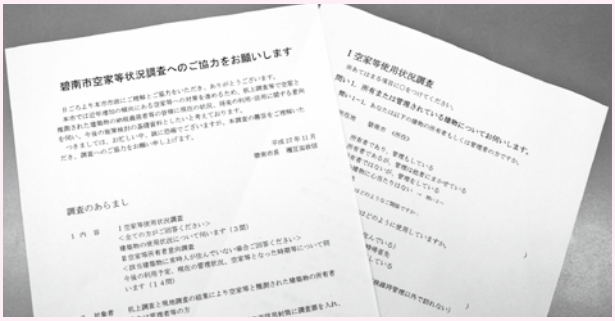
各種全国大会やイベントの開催、ふるさと応援寄附金制度のブレイク、対人口比で全国有数の観覧者数を誇る藤井達吉現代美術館、年間100万人以上が利用するあおいパークや明石公園などの活性化が進んでいます。

⑥特色のある施策を多く実施

第3子以降の保育料・幼稚園使用料の無料、くるくるバスの無料運行、高齢者や障害者に対する24枚の無料入浴券配布、新築住宅建設等促進補助金、市民病院・海浜水族館・芸術文化ホール・哲学たいけん村無我苑の運営などは碧南市の特徴ある施策ですが、サービス水準の「標準化」を進めるなかでも、より充実したかたちで実施することができました。

空き家などの状況調査を実施しています

問合せ　建築課建築行政係



市内にある空き建築物の所有者の皆さんに、空家等状況調査票を郵送しました。12月22日㈫までに同封の返信用封筒に調査票を入れてご返送ください。なお、空き建築物を市内に所有している人で、調査票が届いていない場合は建築課建築行政係までご連絡ください。

今後の空家等対策施策検討の基礎資料とするため、現在の状況や将来の利活用に関する意向を伺います。ご意見、ご要望をお寄せください。

空き家の管理は適切に

空き家は、登記名義人や相続人、管理者などの所有者の財産です。適切な管理に努めることは、所有者などの責務として定められています。管理せずに放置し、老朽化が進むと建築材の落下や倒壊によって危害が及んだり、不特定者の侵入による犯罪や火災のおそれがでてきます。

事故が発生し、他人に被害を与えてしまった場合は、所有者へ損害賠償を求められる場合があります。また、雑草や雑木を手入れしないと、害虫・害獣の住みかとなることがあります。

現在のお住まいの住宅以外に所有している住宅がある人、入院などで自宅を長期不在にしている親族を知っている人などは、空き家となっている建物の状況をご確認いただき、必要に応じて専門業者に相談するなど、適正な管理に努めてください。

長期間住宅を空ける場合は

- 近所や町内会などに連絡先を伝えておきましょう。
- 定期的に様子を見るようにして、戸締りに注意したり、家屋やブロック塀などの破損がないか点検しましょう。
- 自身での管理が困難な場合は、業者や知り合いの人などに管理を依頼しましょう。